

大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：大阪市政記者クラブ)

2015 年 12 月 16 日
公立大学法人大阪市立大学 広報室
Email : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

公立大学法人大阪市立大学・公益財団法人大阪市博物館協会 包括連携協定企画
シンポジウム「難波宮と大化改新Ⅲ」を開催します

大阪市立大学と大阪市博物館協会は、平成 28 年 2 月 20 日（土）に大阪市立大学田中記念館において、シンポジウム「難波宮と大化改新Ⅲ」を開催します。

昭和 29 年（1954）に開始された難波宮跡の発掘調査では、2 時期の宮殿遺構が発見され、史跡公園として保存され、今日も難波宮・難波京の解明にむけた調査が続けられています。7 世紀にさかのぼる前期難波宮は、孝徳朝の難波長柄豊碕宮と考えられ、大化改新の諸政策はこの難波の地で実施されました。

「前期難波宮は豊碕宮か」、「大化改新は実像なのか」をめぐり、長らく否定的な見方が優勢でしたが、1990 年代以降、難波宮調査の進展は豊碕宮であることを確定しました。隋・唐の長安城をモデルとしながら、倭国独自の構造をもつ大規模な宮殿の創出として意義づけられるようになりました。今回は、本学と大阪市博物館協会がこれまでに実施した共同研究やシンポジウムの成果をもとに、中国や朝鮮半島の宮殿についての最先端の調査研究を踏まえ、さらなる議論を行います。皆さまのご応募お待ちしております。



昨年度の様子

記

1. 日 時： 平成 28 年 2 月 20 日（土） 10 時～17 時（開場：9 時 30 分～）
2. 会 場： 大阪市立大学 杉本キャンパス 田中記念館
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
（最寄駅）JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東改札口より徒歩 8 分
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、④号出口より南西へ徒歩 20 分
アクセス：<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access#sugimoto>

3. プログラム

【開会挨拶】10 時～10 時 10 分

【第 1 部 講演】

- 10 時 10 分～11 時 「大化改新と難波宮—大化改新研究の現段階—」
栄原 永遠男（大阪歴史博物館館長・大阪市立大学名誉教授）
- 11 時～12 時 「魏晋南北朝時代における中国里坊制都城の成立・発展・成熟」
朱 岩石 氏（中国社会科学院考古研究所漢唐研究室主任）
- 12 時～13 時 お昼休憩
- 13 時～14 時 「韓国古代無城郭形都城の拡大過程とその意味—新羅を中心に—」
梁 正 錫 氏（韓国水原大学校史学科教授）

※ 朱岩石氏（中国語）、梁正錫氏（韓国語）の講演には通訳がつきます。

【第2部 共同研究総括報告①】

14時～14時15分

「東アジアの王宮と軸線プラン」

せきやま ひろし
積山 洋（大阪文化財研究所学芸員）

14時15分～14時30分

「難波宮近年の発掘成果から考える大化改新」

たかはし たくみ
高橋 工（大阪文化財研究所研究主幹）

14時30分～14時45分

「食器からみた難波宮と大化改新」

いちかわ つくる
市川 創（大阪文化財研究所学芸員）

14時45分～15時

「前期難波宮への中国宮城の影響について」

むらもとけんいち
村元健一（大阪歴史博物館学芸員）

15時～15時10分 休憩

【第3部 共同研究総括報告②】

15時10分～15時25分

「大化改新と宮殿建築の画期」

り やん ほ
李 陽浩（大阪歴史博物館学芸員）

15時25分～15時40分

「7世紀史における難波宮・大化改新」

きしもとなおふみ
岸本直文（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）

15時40分～15時55分

「改新論の課題と展望」

いわした とおる
磐下 徹（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）

【第4部 ディスカッション】

16時～16時50分 講演・報告の登壇者がパネラーとなり、議論を深めます。

【閉会挨拶】16時50分～17時

※時間につきましては、若干の変更がある場合がございます。予め、ご了承ください。

4. 定 員： 330名（事前申込が必要）

5. 参加費： 無料

6. 申込方法

往復はがきに、①住所、②氏名（ふりがな）、③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名を記入の上、応募期間内に下記の宛先までお申し込みください。

《申込先・問い合わせ先》

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 地域連携センター「難波宮と大化改新Ⅲ」係

TEL 06-6605-3504

【応募期間】平成28年1月8日（金）～22日（金）

7. 注意事項 ※ 必ず上記の応募期間内にご応募ください。

（期間内の消印のついたはがきのみ有効です。）期間外のご応募はお受けいたしません。

※ 1枚のはがきに1名のみ記載可。重複応募不可。

申込多数の場合は抽選となります。

※ 参加申込された方の個人情報、この事業に関する連絡のみに使用します。

また、本人の同意なしに個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

8. 主 催： 公立大学法人大阪市立大学、公益財団法人大阪市博物館協会

9. 協 力： 朝日新聞社

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 地域連携センター

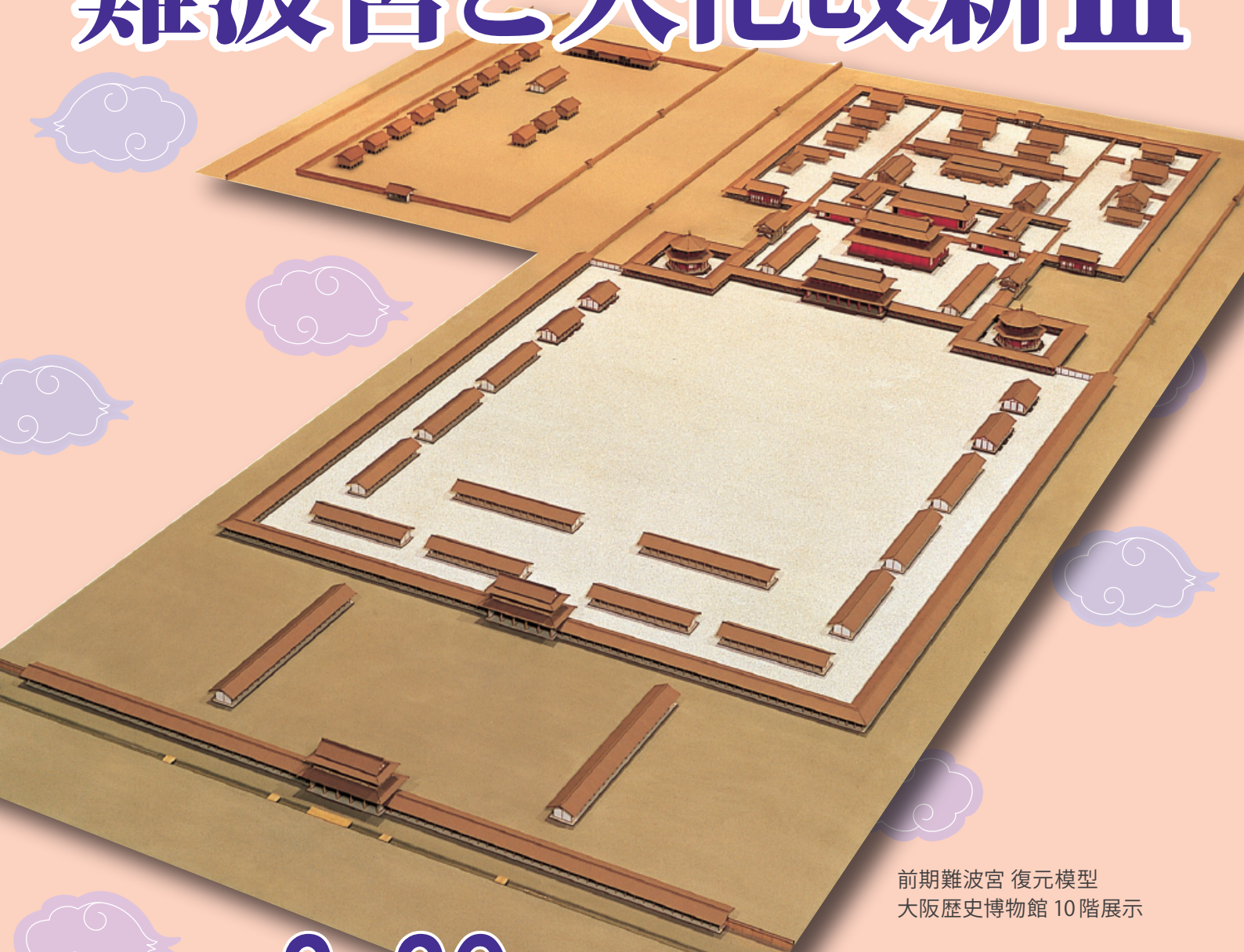
担当：中西、北岡

TEL：06-6605-3504 FAX：06-6605-3505

電子メール：shidai@ado.osaka-cu.ac.jp

シンポジウム

難波宮と大化改新Ⅲ



前期難波宮 復元模型
大阪歴史博物館 10階展示

平成28年 **2月20日(土)** 10時~17時(受付9時30分より)

大阪市立大学 杉本キャンパス 田中記念館

参加費無料 定員 330名(事前申し込み制)

《本講演には事前に申込が必要です》

【参加申込方法】往復はがきに、①住所、②氏名(ふりがな)、③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名を記入の上、下記宛先までお申し込みください。

【申込先】〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 地域連携センター「難波宮と大化改新Ⅲ」係

【問い合わせ先】TEL: 06-6605-3504

【応募期間】平成28年1月8日(金)~22日(金)※当日消印有効

※必ず左記の応募期間内にご応募ください。(期間内の消印のあるはがきのみ有効です。)期間外のご応募はお受けいたしません。

※1枚のはがきに1名のみ記載可。重複応募不可。申込多数の場合は抽選となります。

※参加申込された方の個人情報は、この事業に関する連絡のみに使用します。また、本人の同意なしに個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

シンポジウム 難波宮と大化改新Ⅲ

平成28年2月20日(土)10時～17時 大阪市立大学 杉本キャンパス 田中記念館

昭和29年(1954)に開始された難波宮跡(なにわのみやあと)の発掘調査では2時期の宮殿遺構が発見され、史跡公園として保存され、今日も難波宮・難波京の解明にむけた調査が続けられています。7世紀にさかのぼる前期難波宮は、孝徳朝の難波長柄豊碕宮(なにわながらとよさきのみや)と考えられ、大化改新の諸政策はこの難波の地で実施されました。

前期難波宮は豊碕宮か、大化改新は実像なのかをめぐっては、長らく否定的な見方が優勢でしたが、1990年代以降、難波宮調査の進展は豊碕宮であることを確定させ、隋・唐の長安城をモデルとしながら、倭国独自の構造をもつ大規模な宮殿の創出として意義づけられるようになりました。

今回は、大阪市博物館協会と大阪市立大学がこれまでに実施した共同研究やシンポジウムの成果をもとに、中国や朝鮮半島の宮殿についての最先端の調査研究をふまえて、さらに議論を重ね、難波宮と大化改新の意義について、現在の到達点をまとめることをめざします。

第1部 講演

* 朱岩石氏(中国語)、梁正錫氏(韓国語)の講演には通訳がつきます。

大化改新と難波宮—大化改新研究の現段階—

栄原永遠男(大阪歴史博物館館長・大阪市立大学名誉教授)

最近の大化改新論研究の展開や、難波宮の発掘調査・研究の進展をふまえて、今後の研究への提言を行います。

魏晋南北朝時代における中国里坊制都城の成立・発展・成熟

朱岩石氏(中国社会科学院考古研究所漢唐研究室主任)

魏・呉・蜀の三国時代、中国の都城では単一の宮城、中軸線をもとにした左右対称の計画思想が形成され、また南北朝においては、北朝の宮城・内城・外郭城という機能が異なる三つの空間が成熟し、最終的に完備した里坊制都城が確立されました。これらが東アジアの古代都城に与えた影響について考えます。

韓国古代無城郭形都城の拡大過程とその意味—新羅を中心に—

梁正錫氏(韓国水原大学校史学科教授)

新羅は高句麗や百済のように羅城で外城を構成せず、また長い間都城を移転しませんでした。その結果、王京は拡大志向になり、中心部と外郭地域では変化に違いが見られます。ここでは新羅王京の拡大過程をどのように理解できるのかについて整理してみたいと思います。



第2部 共同研究総括報告①

「東アジアの王宮と軸線プラン」

積山洋(大阪文化財研究所学芸員)

「難波宮近年の発掘成果から考える大化改新」

高橋工(大阪文化財研究所研究主幹)

「食器からみた難波宮と大化改新」

市川創(大阪文化財研究所学芸員)

「前期難波宮への中国宮城の影響について」

村元健一(大阪歴史博物館学芸員)

第3部 共同研究総括報告②

「大化改新と宮殿建築の画期」

李陽浩(大阪歴史博物館学芸員)

「7世紀史における難波宮・大化改新」

岸本直文(大阪市立大学大学院文学研究科准教授)

「改新論の課題と展望」

磐下徹(大阪市立大学大学院文学研究科准教授)

第4部 ディスカッション

講演・報告の登壇者がパネラーとなり、議論を深めます。

* 第1部の間にお昼休憩、第2部と第3部の間に休憩が入ります。ご了承ください。

最寄駅からの案内図



◆大阪市立大学 杉本キャンパス◆
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL:06-6605-3504 (地域連携センター)
▶ご来場には公共の交通機関をご利用ください。車やバイクでの来場はご遠慮ください。